

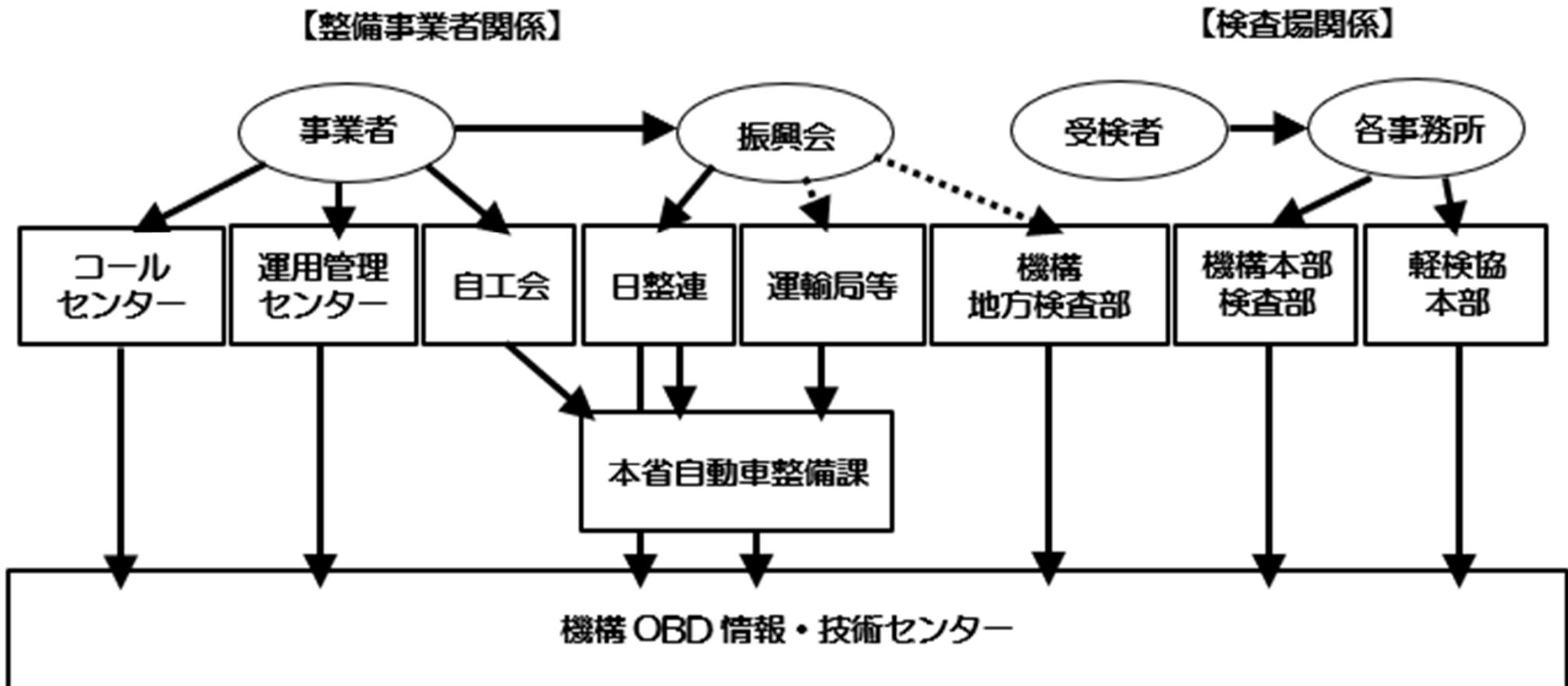
# 報告されている課題

## 報告されている課題の収集

第1回OBD検査モニタリング会合 資料4-1より再掲(※情報収集期間のみ更新)

- 令和6年10月1日から法令が適用となったOBD検査を通じて得られた課題について把握するため、整備事業者関係者及び検査場関係者から情報収集を実施。
- 情報収集フローは下図のとおりであり、独立行政法人自動車技術総合機構において一元的に課題を集約することとしている。

※情報収集期間：令和7年11月25日～令和8年2月16日



## 報告されている課題

## システム関係

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	振興会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在、<u>OBD検査システムへの登録時にクライアント証明書が発行が必要だが、その発行に時間がかかる(申請の翌日になる場合がある)。</u></li> <li>● <u>当該証明書が発行されないと初期設定を進めることができないため、作業に時間を要し、OBD検査システムへの登録の推進等に苦慮している。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● OBD検査システムへの登録の推進にご尽力いただきありがとうございます。</li> <li>● <u>現在、OBD検査システムに登録する事業場の認証のため、クライアント証明方式を利用しておりますが、令和8年8月以降、段階的に、より簡易な方式であるメール認証に移行する予定です。(参考資料3参照)</u></li> </ul>
2	運輸局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>車両情報の手入力時、「燃料の種類」に誤った情報を入力したことに気付かずOBD検査を実施し、一部検査が実施できていない事例があった。</u></li> <li>● <u>燃料の種類が誤っていると考えられる場合、特定DTC照会アプリ上で当該誤りに気が付くことができるアラートを出せないか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特定 DTC 照会アプリにおいて、「燃料の種類」を手入力した際の誤入力を防止するため、令和8年8月に、<u>入力内容の誤りが想定される場合に確認メッセージを表示する改修を行う予定です。(参考資料3参照)</u></li> <li>● 整備事業者に対し、OBD検査等の際には、車検証に記載されている燃料の種類等の情報と、<u>入力した車両情報に誤りがないか、しっかり確認されるよう、周知をお願いします。</u></li> </ul>
3	振興会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>OBD検査時、過去のOBD検査実施履歴が表示されるが、きちんと確認しないと、OBD検査が既に完了していると誤認してしまう可能性がある。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● OBD検査時、前回の判定結果が「検査要否確認」欄に、現在の判定結果が「実行」欄に表示されますが、これらを誤認する可能性は低いと考えています。(別添参照)</li> <li>● 指定整備事業者に対し、<u>検査員の判断において、しっかりOBD検査を実施されるよう周知をお願いします。</u></li> </ul>

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
4	指定 認証	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特定の車両にOBD検査を実施したところ、検査が完了しない(アイコンがグルグル回っている状態から進まない)事象が発生した。</li> <li>● その後、検査場に持ち込んでOBD検査を実施したところ、自工場で実施した際と同様、検査が完了せず、適合/不適合の判定が出なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調査の結果、後付け装置(ステアリングコラム内に取り付けられた、OBDを経由した社外の車速感应式集中ドアロックシステム)が影響していた可能性が判明しました。(取外し後は、正常にOBD検査が完了したとの由。)</li> <li>● 自動車メーカーが想定していない後付け装置の取付けにより、通信に異常をきたし、正常に OBD 検査が実施できない可能性があることから、<u>車両の通信に影響しうる社外品の後付け装置が取り付けられている場合は、当該装置を取り外したうえで、OBD 検査を実施してください。</u></li> </ul>
5	運輸局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>ある輸入車ディーラーにおいて、コネクタの構造が特殊である特定の型式(※)について、検査用スキャンツールを接続せず、警告灯の確認のみでOBD検査を実施すると誤認していると思われる事例があった。</u> ※ 特殊な構造で通信が難しいために、OBD検査システムから警告灯判定を行うよう応答される型式の件と思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>OBD検査は、警告灯判定を行うよう応答されることが明らかな車両であっても、検査用スキャンツールを接続し、OBD検査システムからの指示に従って実施(ただし、特例措置適用時を除く。)する必要があります。</u></li> <li>● <u>これに従わなかった場合、適切にOBD検査が行われていないとして行政処分を受ける可能性がありますので、指定整備事業者にて同様な事例があれば適切に助言願います。</u></li> </ul>

## 報告されている課題

別添

## 項番3関係

- ・『検査要否確認』ボタンを押下後に、前回判定結果/日時の情報が表示されます。(下図①)
- ・検査要否確認の結果、『OBD検査要』と表示された車両は、『実行』ボタンを押下して、OBD検査を実施してください。(下図②)

OBd検査モード

事業場：OBdモータース港支店  
利用者：交通 ゆうき 様

メニューへ ログアウト

処理を終了します。イグニッションをOFFにして、検査用スキャンツールを取り外してください

検査用スキャンツール vci-1 車両から取得した車両識別番号は (NALTEC000011) です。

車台番号 ZZZ-1234567 型式 3BA-ZZZ01 リコール情報参照

類別区分番号 0001 燃料の種類 ガソリン 諸元表参照

申請情報引用 入力内容クリア

検査要否確認

結果 OBD検査要 車名 [ ]

前回判定結果 適合 前回判定時刻 2024/11/01 10:35 OBD実施履歴参照

データリンクコネクタの位置表示

位置詳細表示

※この型式には複数の位置情報が存在します。

実行

適合

判定時刻 2024/11/01 13:37

結果詳細表示 結果詳細CSV出力 中止

VCI情報 帳票PDF出力 次の車両 >